

The Style-Jan2012

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

—里山スタイル—

—Contents—

1.style

ごあいさつ
講座案内
おすすめグルメ

2.style

鉄道の町、福知山

3.style

鉄道交流フェスタの様様

4.style

Others information
相互の思いと出会いが新
たな里山を創る

あけましておめでとうございます！

今年、皆様が心から幸せを感じられる1年となりますように！

旧年中は里山スタイルをご愛読いただき、誠にありがとうございました。

2012年も、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

2011年は皆様にとってどのような年だったのでしょうか？

私たちは丹波・丹後が少しでも住みやすい地域になるように活動してまいりました。

里山スタイルでは、地域の皆様に少しでもお役にたてるよう、2012年も地域情報や課題、そして活動で得た成果を1つでも多く記事にできればと思っています。

●たんたん講座のご案内

- ・プレゼン講座 平成24年1月28日（土）10時～
- ・プレスリリース講座 平成24年1月28日（土）15時～

・場 所 いずれも福知山総合庁舎2階第3会議室（福知山市篠尾新町1丁目）

・参 加 料 無料

・主 催 NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク

●Facebook講座 初級編（2月8日）・中級編（2月9日）

※詳細については当法人のHPをご覧ください。→<http://www.kyoto-tantan.net/>

◆おすすめグルメ



寒～い冬がやってきました。こんな季節に食べたいな～って思うのがあったか～いものがいっぱいですね～。

そんなたんたんがおススメするのがコッペ雑炊！

外子の歯触りと内子の旨味がクセになります！隠し味に特製辛味噌を！是非、寒い冬は心温まる場所で心も体も癒されてみてはいいかがでしょうか。

・丹後旅の宿 万助楼

〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川319

ホームページ→<http://www.mansukero.com/>

鉄道が町に果たしてきた役割を再認識する機会と京都北部地域の資源でもある鉄道を活用した地域活性化のムーブメント、そして地域のPRにつなげる第一歩として当NPO主催で交流フェスタを開催しました。

当法人が主催する鉄道のイベントは初の試みでしたが12時30分の開場と同時に鉄道ファンや町おこしに関心のある方など多数来場していただきました。そして、13時のビデオ上映の頃には多めに用意した座席の7割が埋まりました。年齢層は小学生から70代と幅広く、近年の鉄道ブームなどで鉄道に対する関心の高さがうかがえました。

旧国鉄時代のSL、福知山機関区の貴重な写真展示

鉄道OBの方々から集めた貴重な写真25点を展示。撮影された方は著名なハイアマチュアカメラマンで鉄道関係者しか撮れない写真を出展していただき、来場者を沸かせました。来場者の3分2は若い世代(20代~30代)で女性も多く見受けられましたが、若い世代にとってSLは古い物ではなく、新しい物だと感じられる方が多かったようです。地元福知山に住む若い女性グループの方は「旧国鉄の古い車両が好きで幅広い世代と交流を楽しみたい」と話されていました。



北丹鉄道のビデオ上映

福知山の人々にとって当時のなつかしい思い出として、また地域のムーブメントで実現した宮福鉄道(現:北近畿タンゴ鉄道)が出来るキッカケになった歴史を楽しみたいと、当時を知る世代と知らない世代が会話しながら楽しんでいる様子でした。



大江中学校の発表

テーマ/私たちの未来を乗せて走るKTR
~北近畿タンゴ鉄道の発展に向けて

「北近畿タンゴ鉄道を発展させ、地域を盛り上げたい、また自ら課題を解決していくための考える力と人前で発表することで自らのスキルを向上したい」という意気込みが来場者に伝わり、若い人の感性やアイデア、前向きな行動と考えに来場者の評価も高いようでした。

大江中学の生徒自ら考えた駅弁のアイデアでは、大江は鬼が有名なので鬼を切るからという発想から「鬼切り」(おにぎり)を披露。アッと叫ぶアイデアで会場は一気に盛り上がりました。「笑いと感動」、これが地域を盛り上げるヒントなのかもしれません。



パネルディスカッション テーマ/もしもKTRにSLを走らせたなら。。。

鉄道が地域に果たす役割や地域にどのような波及効果生まれるのかを、この段階ではリスクは考えず、アイデアや知識を全て出し合い、課題を一つ一つクリアしていくという前向きな議論をしていただきました。

◆ (出された意見)

- SLは知らない世代や若い人たちにとっては新しいものであり、SLを知る世代にはなつかしい思い出であるなど、言葉では言い表せない魅力、ロマンがあり、人を引きつけるものがある。
- 鉄道の役割は2種類ある。一つには目的地に行くための移動手段そしてもう一つは“乗ること”が目的でそれ自体を楽しむということ。SLの場合は後者であり、ワクワクしながら町の風情や沿線の魅力が楽しめ、気づかなかった魅力に気づく。
- 今後はKTR自体が観光となり、地域の資源でなければならない。そのため手段として、SLには人を引きつける魅力やワクワク感があり、乗ってもらう魅力づくりのコンテンツとしてKTR沿線の良さをうまく魅せるシンボルになっていくのでは…。



◆ SLを走る実現可能性

現在、JR西日本梅小路機関区にC56とC57の2両があり、その内のC56は小型で扱いやすく、これまで各地のイベントで走った実績がある。C56は20年前JRからKTRに宮津線営業譲渡前にさよなら運転している。(その模様の写真が右)

- SLがあっても動かす人や技術を知っている人は年々少なくなっている。SL全盛時代を知る鉄道OBの知識、経験を今後も受け継いでいかなければならない。走らせるとしたら今しかないなどの意見も出された。



(パネルディスカッションの結論)

SLを走らせることが目的ではなく、地域をどう活性化させていくのか、そのための1つの方法としてSLを走らせようという考え方なら実現する可能性があるのではないかと。民間がもっと町の活性化に参加できる環境と実行しようとしている人と周りにいる人たちが夢を共有することが重要であり、アイデアや知恵、経験、趣味などは何かを変えていく力になり、そこから見えてくるものに価値が生まれる。物やお金、人などがいないから動かないのではなく、今あるものから考えていくことが夢を実現させる重要な一歩になっていくという結論になりました。



今後、このような鉄道関連の交流会、イベントを実施していく予定です。当NPO法人では様々な講座や交流会を実施します。

詳しくは→<http://www.kyoto-tantan.net/>

Others

Information

ホームページもご覧ください
記事以外にも様々な情報を掲載しています
<http://www.kyoto-tantan.net/>

◆ 賛助会員・寄付を募集しております。

賛助会員：（個人） 1口：1000円～
（団体） 1口：10000円～
寄付：1000円～

賛助会員と寄付の申し込み方法はホームページをご覧ください

→<http://www.kyoto-tantan.net/>

またお電話でも受け付けています。→TEL0773-45-3507（平日9時～17時）
みなさまのご支援、ご協力よろしく申し上げます。

相互の思いと出会いが新たな里山を創る。

NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク

地域に活力を生み出す力、それは里人自身が里山を再生したいという「心」です。
そんな心を持っている人たちが出会い、お互いが連携、協力し合うことが大切です。
私たちはそんな「つながり」をサポートします。



当NPOは中間支援団体として、団体や個人、資源などの地域財産を有機的に結び付け地域の活性化を図っているほか、里山活性化・地域活性化を目的とした産物の調査やイベントの開催など、京都北部の魅力を発信しています。

開設以来、中丹地域のお米の食べ比べ、歴史を使った地域活性化の交流会などを実施する中、ようやく地域間のネットワークが進み、地域のみなさんと持続的に協働事業が行える体制の兆しが見え始めました。

今年もまた地域の特徴を生かしたさまざまな交流会を開催する予定でありますのでご支援、ご協力お願いします。

またデジタルカメラ講座やSNSワークショップといった仕事・情報発信に役立たせるための講座も開いております。

現在、当NPOでは会員・賛助会員を募集しています。地域活性化・里山の活性化に興味がある方や何か力になりたいとお思いの方、当NPOと一緒に北部地域を盛り上げてみませんか

編集後記

昨年は鉄道のイベントを初めて開催しました。鉄道ファンのみならず、まちづくりに関心がある方からも高い関心を得ました。地域にある資源（人、もの、歴史など）を活用したり、磨いたりしていくことで地域の活性化につながればと思います。

発行元：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク
〒620-0052 福知山市昭和町77 谷本ビル1F
TEL&FAX (0773) 45-3507
Eメール：tantan@kyoto-tantan.net